



令和7年度 主な取り組みと予算

～地域への誇りと愛着を高め、「環境」を軸とした
活力あるまちをつくる～

令和7年度は、「いいだ未来デザイン2028」後期4年間の初年度となり、計画の総仕上げに向けて礎を築く年となります。

未来デザインに掲げる「8つのまちの姿」の実現に向け、地域への誇りと愛着を持てる「日本一住みたいまち」や環境を軸とした産業の活性化による「ゼロカーボンシティ」の推進に向けた取り組みなど、後期4年間のスタートとなる予算を編成しました。今月の特集では主な取り組みと予算の概要を紹介します。

●問い合わせ／財政課 内線2131

令和7年度 主な事業

誇りと愛着を持てるまちづくり

住み続けたい地域を考える（20地区田舎へ還ろう戦略）

505万円

20地区で策定されている基本構想・基本計画の推進に向け、各地区の人口診断分析や地域関係相関図を活用し、長期的な地域人口安定化への取り組みを進めます。



「みんなの楽しい」をつくる公民館活動

2,042万円

「楽しそう!面白そう!」を入口に、誰もが身近で参加しやすく、一人ひとりが地域での役割を実感できるような「みんなの楽しい」をつくる公民館活動の展開と、活動の楽しさや魅力を伝える情報発信を強化します。

「地域の資源」の見える化・ブランド化

2,872万円

中山間地域との協働による振興事業の推進

6,162万円

UITターンの推進・関係人口の創出・拡大

2,806万円

安心して暮らせるまちづくり(災害への備え)

地域防災力の強化とそれらを支える公助の取り組みの推進

4,065万円

20地区ごとに「地震被害想定調査」を進めるほか、「個別避難計画」の作成や更新などを通して、顔の見える関係づくりと助け合いによる地域防災力を強化します。

また、木造住宅の無料耐震診断・耐震改修工事を促進するほか、個別避難計画作成者のうち迅速に避難できない方に対する、建物内の安全性を高めるための耐震シェルター・耐震ベッドの導入助成などにより、市民一人ひとりの防災意識の向上につなげます。



松尾地区の内水排除対策の強化(固定式ポンプの追加設置など) 2億810万円

社会インフラの長寿命化と安全対策 1億4,686万円

計画に基づく準用河川の適正な維持管理 1億5,370万円

環境を軸とした産業の活性化

産学官連携による水循環・グリーン水素研究と社会実装

700万円

当地域で展開される信州大学の水循環・グリーン水素関係の研究に関わり、水素の活用の可能性や効果を調査し、水素を活用する社会の実現に向けた計画づくりを進めます。

光触媒水素パネル(東大試験施設)▶



環境に配慮した産業の展開 8,060万円

- J-クレジット制度による森林資源活用
- エネルギーコスト削減による中小企業支援

気候変動対策を担う人材の育成 249万円

「オーガニックビレッジ宣言」の取り組み推進 574万円

二次交通によるエコ登山の推進 100万円

従業員の奨学金返還を負担する事業者への支援 60万円

多様な働き方の実現に向けた取り組み(自営型テレワーカー養成講座) 1,223万円

ここ 飯田で育ってよかった ・育ててよかったと実感できるまちづくり

こどもの居場所づくり

3億9,601万円

こどもや子育て世代の皆さんの視点から、安全・安心な環境を整備します。

- 安全・安心な居場所の整備（屋内施設の空調整備）
- 地域こどもの生活支援事業
- 夏休み期間中の小学生預かり事業
- 放課後児童クラブなどの児童受け入れ体制の充実
- こども若者に関する情報発信の強化



産前産後サポートの拡充

879万円

発達特性のあるこどもや困難を抱えるこどもへの支援

6,891万円

飯田学園構想の展開

887万円

学校部活動の地域クラブ活動への移行の推進

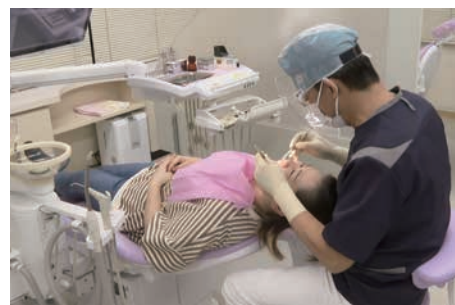
1,719万円

誰もが健康で生き生きと暮らすまちの実現

妊婦歯科健診・歯っぴー歯科健診への支援

472万円

歯周病の早期発見・予防のため、新たに妊婦歯科検診の助成を行います。
また、20歳・30歳・40歳を対象として助成を行っている「歯っぴー歯科健診」
の対象者に50歳・60歳も追加します。



ほうしん 带状疱疹ワクチン接種への助成

4,913万円

高齢者の補聴器購入への支援

450万円

地域包括支援センターの運営と生活支援コーディネーターの設置

1億7,306万円

健康ポイントを活用した健康づくり事業の推進

720万円

介護人材確保の取り組み

660万円

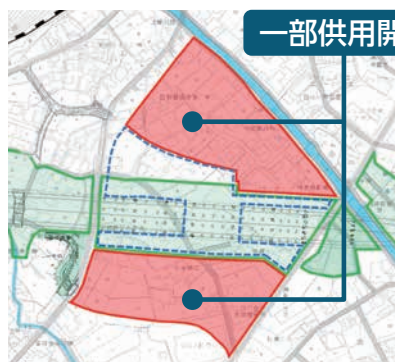
未来に向けた基盤整備

リニア駅周辺整備

16億9,514万円

リニア中央新幹線の開業を待たず、駅前広場は2028年度中の一部供用開始に向けて整備を進めます。

- 駅前広場の整備、運営主体の形成
- 駅周辺関連道路の整備



▲ 飯田・リニア駅前広場プラットフォームでの意見交換

リニア・三遠南信道時代を見据えた各種土地利用計画の見直し

985万円

国県道整備に関連する市道整備

2億1,826万円

企業誘致に向けた新たな産業用地の整備

4億3,940万円

- 飯田山本インター産業団地（仮称）の整備
- 座光寺地区産業用地候補地の検討

地域振興の拠点となる施設整備

5億7,308万円

- 道の駅遠山郷の再整備
- 恒川官衙遺跡ガイダンス施設展示整備
- 新文化会館の整備検討の推進

恒川官衙遺跡ガイダンス施設展示イメージ図▶



◀ 道の駅遠山郷完成イメージ図

予算の概要

一般会計

市税を主な財源として暮らしやまちづくりに必要な行政サービスを行うための会計

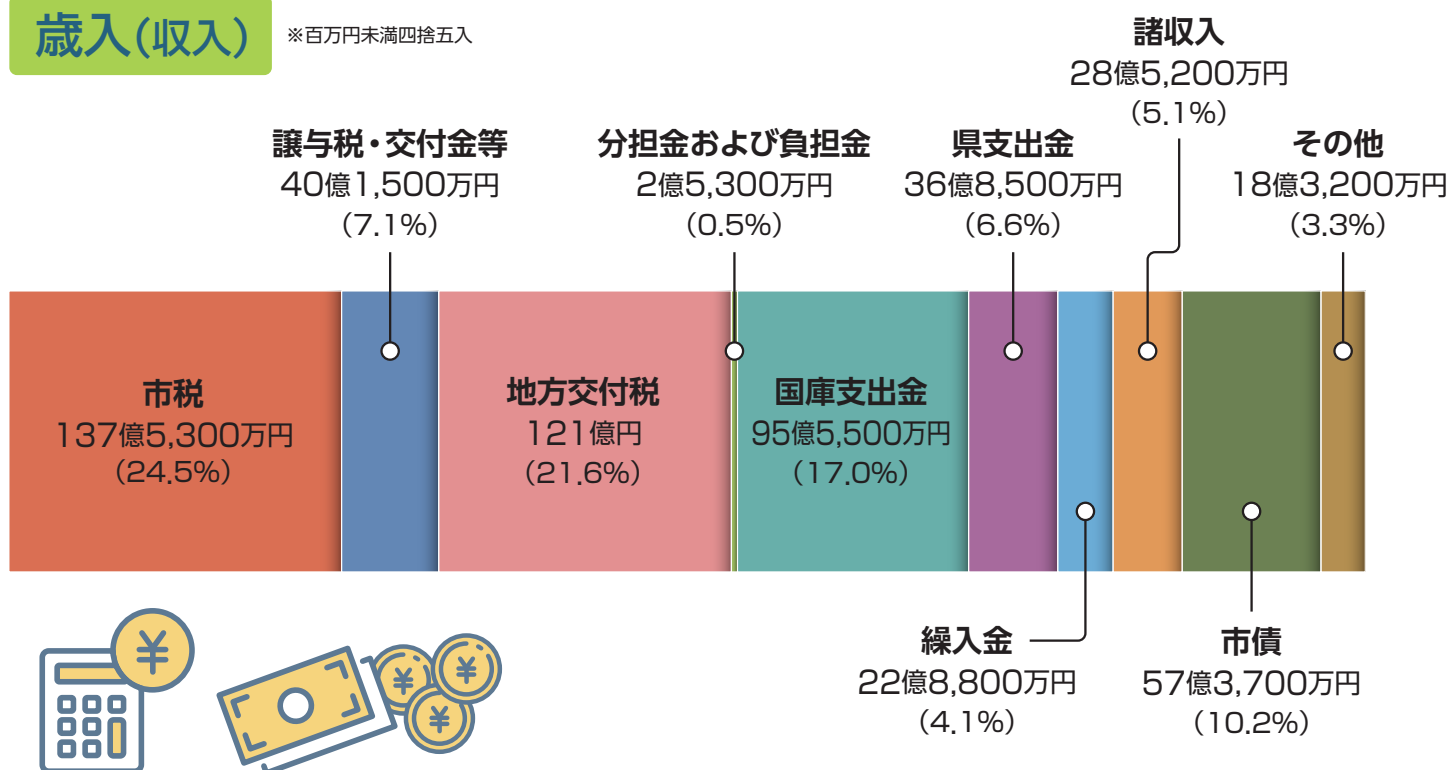
560億7,000万円
(前年度比+4.5%)

一般会計の内訳

令和7年度の一般会計の当初予算は、飯田山本インター産業団地(仮称)に係る物件補償、上郷小学校の長寿童手当の増額、昨今の物価や人件費の上昇に連動した各種物件費の高騰などにより、過去最大の予算規模となり

歳入(収入)

※百万円未満四捨五入



令和10年度末の基金残高と市債残高に関する目標値

基金

災害復旧などの急な支出に備える**貯金**

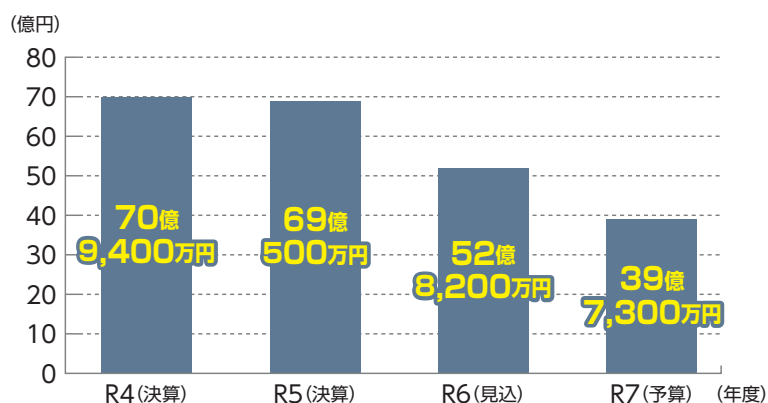
財政調整目的基金(※1)を

27億円程度確保

(※1)

①財政調整基金、②減債基金、③公共施設等整備基金のことをいいます。

財政調整目的基金の推移



特別会計

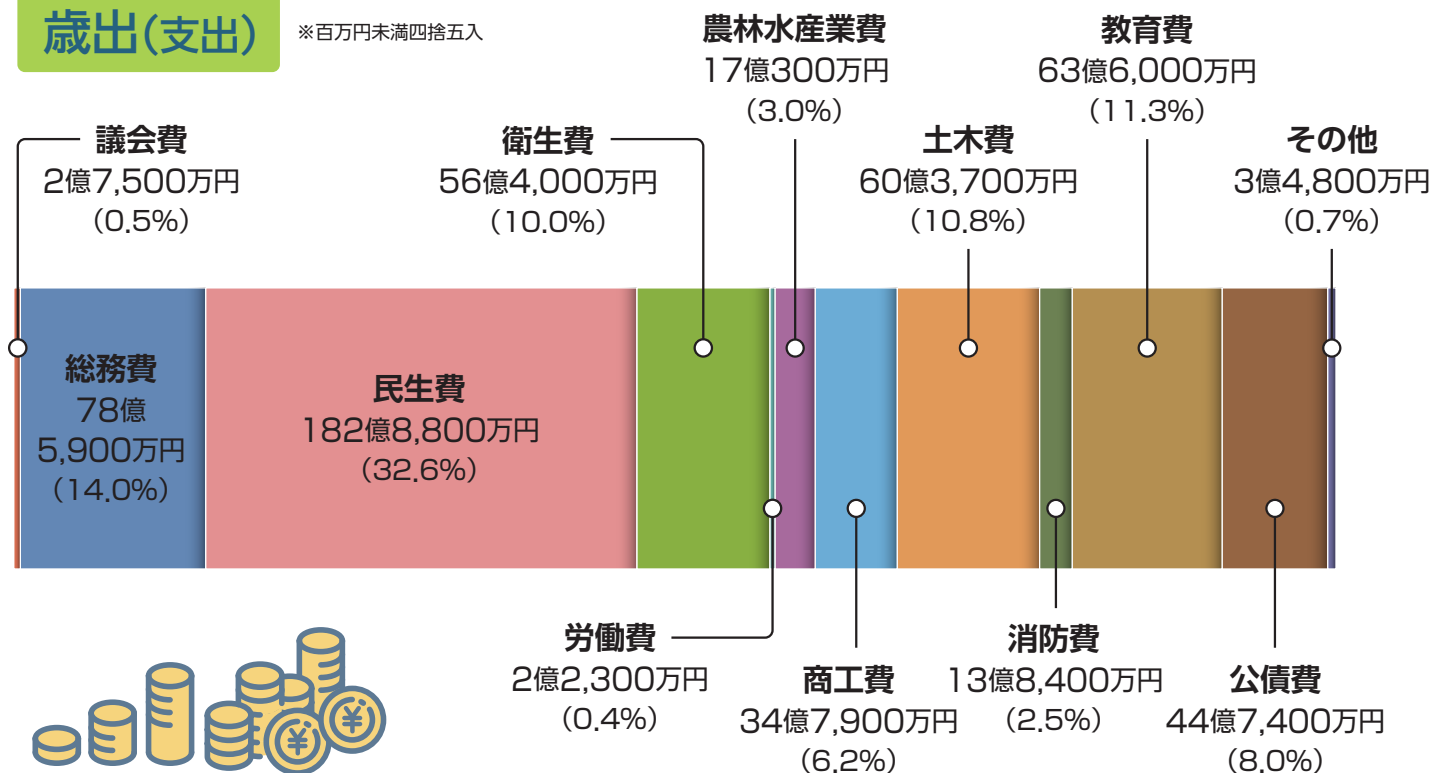
特定の事業ごとに一般会計と区別して経理を行う会計
8つの特別会計と3つの公営企業会計がある

509億9,210万円
(前年度比+0.9%)

命化改修工事などの大規模な建設工事、定額減税に伴う令和6年所得確定後の追加給付金、制度改正に伴う見込みです。

歳出(支出)

※百万円未満四捨五入



市 債

公共事業の財源として市が借りる **借金**

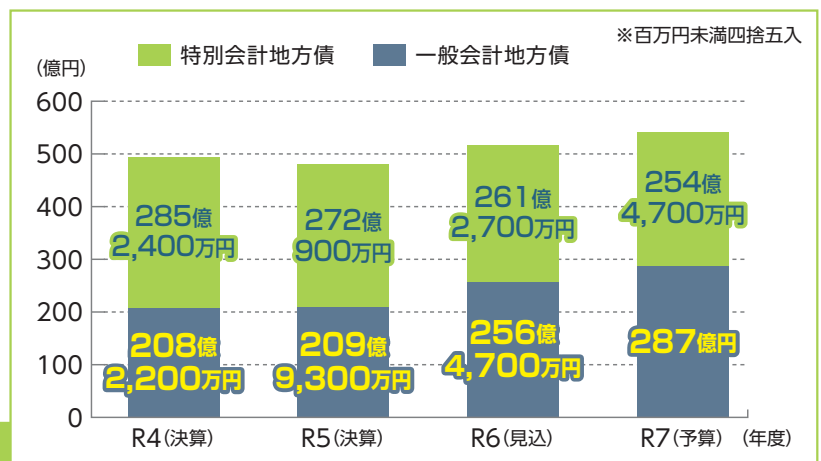
一般会計地方債の残高を

300億円以内に抑制 (※2)

(※2)

返済時に全額交付税措置され、実質的に市の負担がない
臨時財政対策債を除きます。

市債残高の推移



地域マイクログリッド 川路地区で運用開始



メガソーラー内に設置した蓄電池（白い建物内）



市と中部電力株式会社は2月25日、川路地区に構築した地域マイクログリッドの運用を開始しました。この地域マイクログリッドとは、太陽電池と蓄電池とを組み合わせ、災害による停電の際に電力を供給する仕組みです。

第62回 飯田市公民館大会



『「幸せ」のバトンをつなぐ私たち～愉しく、つながり、拡がる～』をテーマに、鼎公民館で行いました。約450人が参加し、パネルディスカッションや分科会で公民館活動について考えました。

みんなおいでよ 人形劇のお楽しみ会



市内の公立認定こども園の保育士が、2月8日に人形劇の公演を行いました。この日のためにプロの劇団から指導を受けて練習し、来場した親子を楽しませていました。

市公式SNSでも市内の出来事やイベントなどを配信しています。
ぜひご覧ください。

QRを
スキャン



Instagram

信州大学大学院の学生が 研究の成果を発表



エス・バードで開講している信州大学のランドスケープ・プランニング共同研究講座が、リニア開通後の南信州を考えるまちづくりシンポジウムを開催。参加者との意見交換も行われました。

ムトスぷらざに お手製の家具を設置



飯田下伊那の高校生と専門学校生が、地元の業者の協力を得て、デザインから手がけて製作した家具を設置しました。「気軽に集まる場所として長く使ってもらいたい」と話していました。

青崩峠道路青崩峠トンネル（仮称） 工事完成式



飯田市と浜松市とを結ぶ三遠南信自動車道のうち、青崩峠道路青崩峠トンネル（仮称）の工事完成式が3月2日に行われました。峠の国盗り綱引き合戦のエキシビションマッチなどで完成を祝いました。

市の魅力を映像で発信 PR動画コンテスト



最優秀賞「飯田-IIDA-」

市のPR動画をコンテスト形式で募集し、15作品の応募の中から、入賞4作品を決定しました。入賞作品は、市公式YouTubeでご覧いただけます。



市公式YouTube

現代版 養生訓

小児科
伊藤かおり 医師

川崎病ってどんな病気？

川崎病は、小児期（主に乳幼児期）のみに起こる病気です。急な発熱で始まることが多く、両方の目の充血、唇や舌が赤くなる、体の発疹（BCG痕が赤く腫れる）、手足が赤く腫れる、首のリンパ節が腫れる、という6つの主要な症状のうち5つ以上、または冠動脈病変が確認された場合や他の疾患が否定された場合に「川崎病」と診断されます。

冠動脈とは大動脈の付け根の近くから心臓を取り巻くように出ている血管で、心臓自身に血液を送ります。心臓が休みなく動き続けるために、なくてはならない血管です。川崎病で無治療の場合には3から4人に1人の割合でおよそ9から10日目以降から冠動脈病変を合併してしまうため、それを防止するために入院して治療を行います。治療をすればこのような心臓合併症を起こすことはほとんどなく、将来にわたって生活や運動の制限はありません。

近年少子化は言われていますが、川崎病の罹患率

は年々増加を認めます。1970年以降2年ごとに川崎病全国調査が実施されており、この調査結果によると就学するまでには約50人に1人以上、つまり1から2クラスに1人以上は川崎病に罹患するということになります。

川崎病の原因はさまざまな説が論じられていますが、いまだ解明されていません。何らかの感染症が背景にあるという考え方が一般的で、それを裏付けるかのようにコロナ禍では感染予防策の徹底により感染症の流行自体が減少し、2020から2022年の川崎病患者数も一時的に減少がみられましたが、コロナ禍が明けてからは患者数がまた増加したことを日々の診療で感じております。

川崎病の症状は数日から10日かけてそろってくるため、最初の数日では診断できないことがよくあります。ご心配な点がありましたらまずはかかりつけ医にご相談ください。

飯田市立病院 〒395-8502 飯田市八幡町438 ☎0265(21)1255

Vol.47

市長室から

市長 佐藤 健

みんなそうだよ

ある朝、通勤途上、小学校の前を通りかかると、数人の子どもたちが集まっていました。「おはよう」と通り過ぎようすると「市長さんならいいこと考えてくれるかも」と声がかかりました。ロクに話す子どもたちの話を総合すると、1年生の男の子が「漢字テストがあるので教室に行きたくない」と言うのを、周りの子どもたちがなだめているようです。

教科書を出して「このページを見ておけば大丈夫」と励ます子もいれば、「今日中にはテストは返ってこないから、お母さんには怒られないよ」と妙に説得力のある話をする子も。

「一緒に校長先生のところに行こうか」と手をつないでみましたが、「きっと先生が連

れに来るから」と動こうとしません。どうしようかと考えあぐねていたところに、先生が2人お見えになったので、お任せして市役所に向かったのですが、先生方と子どもたちはあの後どうしたのか、自分はどんな声を掛けるべきだったのかと考えながら愛宕神社の石段を登りました。

あのときのキミ。にげだしたくなることは、だれでもみんなあるよ（ぼくもあります）。がんばってのりこえられることもあれば、よけてとおることもある。ちょっとまってからやってみるとうまくいくこともあるし、おともだちにたすけてもらうのもいいね。おかあさんもせいもキミのみかただから、しんぱいしないでそうだんしてみてください。